Report (報 告)

フクロウ目の新しい種和名

山崎 剛史^{1,*}・亀谷 辰朗¹・太田 紀子¹

Revised Japanese Names for Species of Owls (Strigiformes)

Takeshi Yamasaki^{1,*}, Tatsuaki Kameya¹ and Noriko Ota¹

Abstract. Japanese names are a useful tool for Japanese speakers to communicate about birds. However, over 30 years have already passed since the most influential book treating all modern birds and providing Japanese names, “A World List of Birds” (Yamashina 1986), was published. During that time, the classification of birds has undergone major changes. Here we provide a revised list of Japanese names of owl species (Strigiformes) which adopts the latest classification system (Gill & Donsker 2017). When compiling our list, we paid attention to ensuring the stability, brevity and correctness of Japanese names.

Key words: Japanese names, Owls, Species, Strigiformes.

キーワード: 和名, フクロウ類, 種, フクロウ目.

はじめに

鳥の種に付けられた名称のうち、科学的議論に最も適しているのは学名である。それは『国際動物命名規約』（動物命名法国際審議会 2005）による厳しい規制を受けているため、ある一つの種に対して多くの別名があるなどの難しい事態のときでさえ、正しい名称が客観的に、一意に定まる（詳しくは、山崎 2007）。これに対し、学名以外のすべての名称は通俗名と総称される。通俗名は学名とは違って規約による規制を受けないが、ラテン語（あるいはラテン語化された他言語）ではなく、慣れ親しんだ母国語を基礎とした名称の体系を構築できるという明らかな利点があるため、多くの国において整備が進められ、日常的に用いられている。和名については、森岡（1980, 1981, 1982, 1983）、山階（1986）、白井（1992）などが整備を行った。

これらの試みのなかで、特筆に値するものは『世界鳥類和名辞典』（山階 1986）である。これは、世界に分布するすべての鳥類を網羅したはじめての和名リストで、1冊の書籍として出版・販売されたため、各方面に強い影響力を持つに至った。しかし、この書籍が出版されてから、すでに30年が経過している。この間、分子系統学が目覚ましい発展を遂げたこと、生物

Received 6 June 2017.

¹ 公益財団法人山階鳥類研究所, 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115.

* 責任著者. E-mail: yamasaki@yamashina.or.jp

¹ Yamashina Institute for Ornithology, 115 Konoyama, Abiko, Chiba 270-1145, Japan.

* Corresponding author. E-mail: yamasaki@yamashina.or.jp

音響学についてもデータの蓄積が進んだことなどを受け、鳥類の分類体系は大きく変化した。例えば、山階（1986）において1種として扱われていた種が複数に分割されたり、所属する属が変化したりした例は非常に多い。このため、山階（1986）に掲載されていない学名数は増えたし、また、学名が掲載されていた場合にも、そこで与えられた和名が適切でなくなった例が多く見られるようになった。例えば、山階（1986）は *Ciconia ciconia* に「コウノトリ」という和名を与えた。この鳥の東アジアの集団は現在では独立種 *C. boyciana* として扱われ、*C. ciconia* はユーラシア大陸西部にのみ分布する鳥だとされる。したがって、*C. ciconia* を「コウノトリ」と呼ぶのはもはや適切でない。

このような背景のもと、我々は、山階（1986）の和名の体系をアップデートする計画に取り組んできた。我々は、多数の著名な分子系統学者の協力のもと、内容の確認、更新が定期的かつ頻繁に行われている Gill & Donsker（2017）を最新の分類体系として採用し、そこに登場するすべての種に適切な和名を与えることにした。とくに以下の2点に留意し、この作業を進めた。

1. 安定性。すでに広く用いられている和名は、安易に変えるべきではない。この方針の遵守には、分類学的変遷の知識が欠かせない。例えば、属の移動や、それに伴って生じる同名関係解消のための置換名使用は、学名を変えるが、それが指す実体は同じままである。この場合、その種に対する和名は、同じものを使うべきである。
2. 表現の簡潔性と正確性。和名中の形容詞的要素（例えば、「アジア」「シロ」など）は不必要に（冗長に）用いるべきではないし、用いるときにはその鳥の特性を正確に表すべきである。この点は、後述の通り、種の分割があった際、とくに問題になる。

ここでは、フクロウ目 Strigiformes の種について、作業を進めた結果を公表する。

方 法

以下、山階（1986）の和名を山階和名、ここで提唱する新リストの和名を新和名（文献調査に由来するものがあるので、必ずしも新称とは限らない）と呼ぶ。新和名の決定手順は以下の通りである。なお、絶滅鳥については、基本的には本稿の対象外としたが、山階（1986）に収録されているワライフクロウ *Sceloglaux albifacies* については検討を行った。

A. Gill & Donsker（2017）の学名が山階（1986）に掲載されていない場合

この場合にはまず del Hoyo & Collar（2014）の種分類のレビューを確認した。そのうえで、

(A-1) 当該の種が、山階（1986）が採用した分類体系が構築された時期以降に、他種から分割されたのではなく、まったくの新種として記載されたものだと考えられるときには、日本鳥学会（1942）、黒田（1964）、山階鳥類研究所（1976）、内田・島崎（1987）、白井（1992）、荒俣（1993）、日本鳥学会（2012）、柴田（2015）を調査し、すでに和名が提唱されているかどうかを確認した。提唱された和名がある場合には、それらすべてを新和名の候補とした。和名の提唱が行われていないときには、新和名候補なしとした。

(A-2) 当該の種が、山階（1986）掲載の種の分割（亜種の格上げや、亜種の記載を介さない隠蔽種の発見）によるものであった場合には、後述の「種の分割に関連する新和名候補選定手

順」に基づいて新和名候補を探索した。

(A-3) 当該の種が、山階（1986）掲載の種の属の移動、置換名の使用などによって学名が変化したものであった場合には、その種の山階和名を新和名の候補とした。

B. Gill & Donsker（2017）の学名が山階（1986）に掲載されている場合

この場合には、Gill & Donsker（2017）と山階（1986）の分布を比較した。

(B-1) 分布の一致が見られるときには、両文献がその学名で表している種の実体は同じであると考えた。この場合、その山階和名を新和名の候補とした。

(B-2) 分布が異なるときには、学名が同じであっても、一部の亜種の格上げや、種の統合など、分類学的な変更が加えられている可能性が高いと判断した。この場合には、del Hoyo & Collar（2014）の種分類のレビューを参照することで、分類学的変遷を把握した。そのうえで、

(B-2-a) 分布の齟齬が種の分割（亜種の格上げや、亜種の記載を介さない隠蔽種の発見）による場合には、後述の「種の分割に関連する新和名候補選定手順」に基づいて新和名候補を決定した。

(B-2-b) 分布の齟齬が複数種の統合による場合には、それらの種の山階和名をすべて新和名の候補にした。

なお、分布の齟齬が種の分割、統合以外の分類学的変更によって生じた例（例えば、スズメ目のモウコアカモズ *Lanius isabellinus*; Pearson 2000, Pearson *et al.* 2012）は、フクロウ目については見られなかった。

種の分割に関連する新和名候補選定手順

ある種が複数の種に分割されたとき、従来の山階和名をどちらの種に適用するかは、以下の規則に従って判断した。

(1) 分割後の種のなかに日本産の種が含まれる場合

分割後の種のなかに日本産のもの（外来種を含む）が含まれていて、それが1種だけの場合には、その種の新和名候補として、従来の山階和名を採用した。日本産のものが複数ある場合には、日本鳥学会（2012）の種和名（同書で当該の種が亜種扱いの場合には亜種和名）の付け方にならい、従来の山階和名を新和名候補とする種を決めた。その他の日本産の種の新和名候補には、日本鳥学会（2012）の種和名または亜種和名を用いた。海外のものについては、日本鳥学会（1942）、黒田（1964）、山階鳥類研究所（1976）、内田・島崎（1987）、白井（1992）、荒俣（1993）、日本鳥学会（2012）のAppendix B「検討中の種・亜種」、柴田（2015）で和名が付けられているかどうかを確認し、付けられていた場合にはそれらすべてを新和名の候補とし

た。和名の提唱が行われていないときには、新和名候補なしとした。なお、これらの文献が、当該の種を亜種扱いしたうえでそれに和名を与えていた場合には、その亜種和名も当該の種の新和名の候補とした。

(2) 分割後の種がすべて海外産の場合

(2-1) 分割前の種の山階和名が表現型を表す言葉や、地名、人名等を含む場合には、それが表すところと最もよく一致する種の新和名候補として、その山階和名を採用した。その他の種については、(1)の海外産の種の手順を踏襲した。

(2-2) (2-1)が適用できない場合で、分割された種が広域に分布するもの1種とその他、局所的な分布を持つ種からなるときには、その広域分布種の新和名候補として、山階和名を用いた。ただし、後者の局所的な分布を持つ種のなかに樺太・朝鮮半島・台湾・南洋諸島に分布する種が含まれている場合には、歴史的な観点から見て、広域分布種ではなく、それらの種が山階和名を引き継ぐ方が妥当である例も見られた。この場合には、それらの種の新和名候補として、山階和名を用いた。なお、この判断を行う際には、日本鳥学会(1942)を参考にした。山階和名を新和名候補として引き継いだ種以外の種については、(1)の海外産の種の手順を踏襲した。

(2-3) 上記2つの基準の適用がいずれも難しい場合には、最も古くに記載された学名を持つ種の新和名候補として、分割前の山階和名を用いた。その他の種については、(1)の海外産の種の手順を踏襲した。

新和名の確定方法

Gill & Donsker (2017)の学名に対し、上記の手順で新和名候補が確定したものについては、誤字・脱字、地名や人名のカタカナ表記の不統一を含んでいないか確認し、問題があるときには適宜修正を加えた。その和名候補が表現型・分布等を表す言葉を含む場合には、それが実体に即しているかどうかを確認し、不適切な場合にはその候補を却下した。差別的な用語を含むものも同様にした。最後に口調と文字数についても検討し、使用に耐えないと思われるものは却下した(例えば、既存の種の分割による種のなかには、非常に長い新和名候補を持つものが散見された)。

以上により、候補が1つに絞り込まれた場合にはそれを新和名として採用した。候補が複数残っている場合には、その鳥の実体を最もよく表しており、口調と文字数の点でも好ましいと判断されるものを新和名として採用した。甲乙がつけ難い場合については、どの和名がより普及しているか(普及の度合いは、ウェブ検索(<http://google.co.jp>; 2017年6月6日アクセス)によるヒット数で測定した)、どの和名の提唱が先かについても勘案し、新和名を決定した。なお、新和名として、山階和名を踏襲することになった種のなかには、普及した別和名を持つものも見られた。それらについては、別和名をカッコに入れて併記した。

(1)新和名の候補がないか、あるいは、(2)上記の手順を踏んだ結果としてすべての候補が却下され、新和名が確定しないときには、ここで新たに和名を考案することにした。以下、

(1) の場合を「新称」、(2) の場合を「改称」とよぶ。

結 果

フクロウ目239種の新しい種和名を付表1に示した。なお、方法の各々の場合分けに対応する種数内訳は以下の通りであった。

(A-1) まったくの新種として記載されたもの21種 (8.8%)。 (A-2) 既存の種の分割によって生じたもの75種 (31.4%)。 (A-3) 属の移動があった種28種 (11.7%) (なお、属の移動と種の分割の両方を経た種は、A-2に含めた)。置換名が使用されたものは、ニューアイルランドアオバズク *Ninox variegata* (山階 (1986) では *N. solomonis*) と、チャバラアオバズク *N. ochracea* (山階 (1986) では *N. perversa*) の2種 (0.8%)。 (B-1) 学名と分布が不変であったもの81種 (33.9%)。 (B-2-a) 学名は同じだが、分布が狭まったもの32種 (13.4%)。 (B-2-b) 学名が同じで分布が広がったものは、フクロウ目においては見られなかった。なお、ここで新たに和名を考案した種は、新称56種 (23.4%)、改称13種 (5.4%) であった。

謝 辞

この原稿を取りまとめるにあたっては、山階鳥類研究所自然誌研究室の鶴見みや古氏、今村知子氏からご支援をいただいた。本研究は、文部科学省科学研究費補助金特定奨励費 (平成27~29年度) の交付を受けて実施された。

引用文献

- 荒俣 宏 1993. 世界大博物図鑑 別巻1 [絶滅・希少鳥類]. 平凡社, 東京.
- 動物命名法国際審議会 2005. 国際動物命名規約 第4版 日本語版 [追補]. 日本分類学会連合, 東京.
- Gill, F. & Donsker, D. (eds.) 2017. *IOC World Bird List* (v 7.2). doi: 10.14344/IOC.ML.7.2. accessed on 2 June 2017.
- del Hoyo, J. & Collar, N. J. 2014. *HBW and BirdLife International Illustrated Checklist of the Birds of the World. Volume 1: Non-passerines*. Lynx Edicions, Barcelona.
- 黒田長久 1964. アフリカの鳥20. アフリカ **4**(7): 32-33.
- 森岡弘之 1980. 世界の鳥の分類和名(1). 鳥 **29**: 99-102.
- 森岡弘之 1981. 世界の鳥の分類和名(2). 鳥 **30**: 95-104.
- 森岡弘之 1982. 世界の鳥の分類和名(3). 鳥 **31**: 25-31.
- 森岡弘之 1983. 世界の鳥の分類和名(4). 鳥 **32**: 161-173.
- 日本鳥学会(編) 1942. 日本鳥類目録 (改訂三版). 日本鳥学会, 東京.
- 日本鳥学会 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 三田.
- Pearson, D. 2000. The races of the Isabelline Shrike *Lanius isabellinus* and their nomenclature. *Bulletin of the British Ornithologists' Club* **120**(1): 22-33.
- Pearson, D., Svensson, L. & Frahnert, S. 2012. Further on the type series and nomenclature of the Isabelline Shrike *Lanius isabellinus*. *Bulletin of the British Ornithologists' Club* **132**(4): 270-276.
- 柴田佳秀 2015. 生きものの好きの自然ガイド「このは」No. 9 世界のフクロウがわかる本 とっておきの100種. 文一総合出版, 東京.
- 白井祥平 1992. 世界鳥類名検索辞典・和名篇. 原書房, 東京.
- 内田清一郎・島崎三郎 1987. 鳥類学名辞典. 東京大学出版会, 東京.
- 山崎剛史 2007. 鳥類の保全と分類学. 保全鳥類学 (山階鳥類研究所編), pp. 13-31. 京都大学学術出版会, 京都.
- 山階鳥類研究所 1976. 世界の鳥の和名 ソビエト連邦の鳥. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階芳麿 1986. 世界鳥類和名辞典. 大学書林, 東京.

付表1. 新たに提案したフクロウ目名和名リスト. 分類と英名はGill & Donsker (2017) に準拠した. 「改称」は, 山階 (1986) 掲載の和名を一部改変 (地名のカタカナ表記など) したものを指す.

Appendix 1. A newly proposed list of Japanese names for species of owls (Strigiformes). The classification and English names follow Gill & Donsker (2017).

No.	英名 English name	学名 Scientific name	和名 Japanese name	出典 Source
1	Greater Sooty Owl	<i>Tyto tenebricosa</i>	ススイロメンフクロウ	柴田 (2015) より
2	Lesser Sooty Owl	<i>Tyto multipunctata</i>	ヒメススイロメンフクロウ	
3	Minahassa Masked Owl	<i>Tyto inexpectata</i>	ミナハサメンフクロウ	
4	Taliabu Masked Owl	<i>Tyto nigrobrunnea</i>	スラメンフクロウ	新称
5	Moluccan Masked Owl	<i>Tyto sororcula</i>	モルッカメンフクロウ	
6	Manus Masked Owl	<i>Tyto manusi</i>	マヌスメンフクロウ	
7	Golden Masked Owl	<i>Tyto aurantia</i>	ニューブリテンメンフクロウ	新称
8	Australian Masked Owl	<i>Tyto novaehollandiae</i>	オオメンフクロウ	
9	Sulawesi Masked Owl	<i>Tyto rosenbergii</i>	セレベスメンフクロウ	
10	Red Owl	<i>Tyto soumagnei</i>	マダガスカルメンフクロウ	新称
11	Western Barn Owl	<i>Tyto alba</i>	メンフクロウ	
12	American Barn Owl	<i>Tyto furcata</i>	アメリカメンフクロウ	
13	Eastern Barn Owl	<i>Tyto javanica</i>	オーストラリアメンフクロウ	新称
14	Andaman Masked Owl	<i>Tyto deroepstorffi</i>	アンダマンメンフクロウ	新称
15	Ashy-faced Owl	<i>Tyto glaucops</i>	ヒスパニョラメンフクロウ	柴田 (2015) を改称
16	African Grass Owl	<i>Tyto capensis</i>	ミナミメンフクロウ	
17	Eastern Grass Owl	<i>Tyto longimembris</i>	ヒガシメンフクロウ	
18	Congo Bay Owl	<i>Phodilus prigoginei</i>	コンゴニセメンフクロウ	新称
19	Oriental Bay Owl	<i>Phodilus badius</i>	ニセメンフクロウ	
20	Sri Lanka Bay Owl	<i>Phodilus assimilis</i>	セイロンニセメンフクロウ	
21	Giant Scops Owl	<i>Otus gurneyi</i>	オニコノハズク	新称
22	White-fronted Scops Owl	<i>Otus sagittatus</i>	ハナジロコノハズク	
23	Reddish Scops Owl	<i>Otus rufescens</i>	アカチャコノハズク	
24	Serendib Scops Owl	<i>Otus thiloehoffmanni</i>	セイロンコノハズク	新称
25	Sandy Scops Owl	<i>Otus icterorhynchus</i>	アカヒメコノハズク	
26	Sokoike Scops Owl	<i>Otus irenae</i>	ハイイロコノハズク	
27	Andaman Scops Owl	<i>Otus balli</i>	アンダマンコノハズク	荒俣 (1993) より
28	Flores Scops Owl	<i>Otus alfredi</i>	フロレスコノハズク	
29	Mountain Scops Owl	<i>Otus spilocephalus</i>	タイワンコノハズク	
30	Rajah Scops Owl	<i>Otus brookii</i>	ラジャールオオコノハズク	柴田 (2015) を改称
31	Javan Scops Owl	<i>Otus angelinae</i>	ジャワコノハズク	
32	Mentawai Scops Owl	<i>Otus mentawi</i>	ムンタワイオオコノハズク	
33	Indian Scops Owl	<i>Otus bakkamoena</i>	インドオオコノハズク	柴田 (2015) より
34	Collared Scops Owl	<i>Otus lettia</i>	チャメオオコノハズク	
35	Japanese Scops Owl	<i>Otus semitorques</i>	オオコノハズク	
36	Sunda Scops Owl	<i>Otus lempiji</i>	スンダオオコノハズク	柴田 (2015) より
37	Palawan Scops Owl	<i>Otus fuliginosus</i>	パラワンオオコノハズク	
38	Philippine Scops Owl	<i>Otus megalotis</i>	ルソンオオコノハズク	
39	Everett's Scops Owl	<i>Otus everetti</i>	ミンダナオオオコノハズク	新称
40	Negros Scops Owl	<i>Otus nigrorum</i>	ネグロスオオコノハズク	新称
41	Wallace's Scops Owl	<i>Otus silvicola</i>	フロレスオオコノハズク	柴田 (2015) より
42	Mindanao Scops Owl	<i>Otus mirus</i>	ミンダナオコノハズク	
43	Luzon Scops Owl	<i>Otus longicornis</i>	ルソンコノハズク	
44	Mindoro Scops Owl	<i>Otus mindorensis</i>	ミンドロコノハズク	白井 (1992) より
45	Pallid Scops Owl	<i>Otus brucei</i>	サバクコノハズク	
				山階鳥類研究所 (1976) を改称
46	African Scops Owl	<i>Otus senegalensis</i>	アフリカコノハズク	新称
47	Arabian Scops Owl	<i>Otus pamela</i>	アラビアコノハズク	

付表1. つづき.
Appendix 1. Continued.

No.	英名 English name	学名 Scientific name	和名 Japanese name	出典 Source
48	Eurasian Scops Owl	<i>Otus scops</i>	ヨーロッパコノハズク	
49	Cyprus Scops Owl	<i>Otus cyprius</i>	キプロスコノハズク	新称
50	Oriental Scops Owl	<i>Otus sunia</i>	コノハズク	
51	Socotra Scops Owl	<i>Otus socotranus</i>	ソコトラコノハズク	新称
52	Moluccan Scops Owl	<i>Otus magicus</i>	モルッカコノハズク	柴田 (2015) より
53	Rinjani Scops Owl	<i>Otus jolandae</i>	リンジャンコノハズク	新称
54	Sula Scops Owl	<i>Otus sulaensis</i>	スラコノハズク	新称
55	Siau Scops Owl	<i>Otus siaoensis</i>	シアウコノハズク	新称
56	Mantanani Scops Owl	<i>Otus mantananensis</i>	マンタナニコノハズク	新称
57	Ryukyu Scops Owl	<i>Otus elegans</i>	リュウキュウコノハズク	日本鳥学会 (2012) より
58	Sulawesi Scops Owl	<i>Otus manadensis</i>	セレベスコノハズク	
59	Sangihe Scops Owl	<i>Otus collari</i>	サンギヘコノハズク	新称
60	Biak Scops Owl	<i>Otus beccarii</i>	ビアクコノハズク	
61	Seychelles Scops Owl	<i>Otus insularis</i>	セーシェルコノハズク	
62	Simeulue Scops Owl	<i>Otus umbra</i>	シムルエコノハズク	改称
63	Enggano Scops Owl	<i>Otus enganensis</i>	エンガンコノハズク	白井 (1992) より
64	Nicobar Scops Owl	<i>Otus alius</i>	ニコバルコノハズク	新称
65	Pemba Scops Owl	<i>Otus pembraensis</i>	ペンバコノハズク	柴田 (2015) を改称
66	Karhala Scops Owl	<i>Otus pauliani</i>	グランドコモロコノハズク	荒俣 (1993) を改称
67	Anjouan Scops Owl	<i>Otus capnodes</i>	アンジュアンコノハズク	新称
68	Moheli Scops Owl	<i>Otus moheliensis</i>	モヘリコノハズク	新称
69	Mayotte Scops Owl	<i>Otus mayottensis</i>	マヨットコノハズク	新称
70	Torotoroka Scops Owl	<i>Otus madagascariensis</i>	オナガマダガスカルコノハズク	新称
71	Rainforest Scops Owl	<i>Otus rutilus</i>	マダガスカルコノハズク	
72	Sao Tome Scops Owl	<i>Otus hartlaubi</i>	サントメコノハズク	
73	Flammulated Owl	<i>Psiloscoops flammeolus</i>	アメリカコノハズク	
74	Eastern Screech Owl	<i>Megascops asio</i>	アメリカオオコノハズク	
75	Western Screech Owl	<i>Megascops kennicottii</i>	ニシアメリカオオコノハズク	柴田 (2015) より
76	Balsas Screech Owl	<i>Megascops seductus</i>	バルサスオオコノハズク	柴田 (2015) より
77	Pacific Screech Owl	<i>Megascops cooperi</i>	クーパーオオコノハズク	改称
78	Whiskered Screech Owl	<i>Megascops trichopsis</i>	ヒゲコノハズク	
79	Tropical Screech Owl	<i>Megascops choliba</i>	スピックスコノハズク	
80	West Peruvian Screech Owl	<i>Megascops roboratus</i>	シロエリオオコノハズク	
81	Koepcke's Screech Owl	<i>Megascops koepckeae</i>	ケプケオオコノハズク	新称
82	Bare-shanked Screech Owl	<i>Megascops clarkii</i>	パナマオオコノハズク	
83	Bearded Screech Owl	<i>Megascops barbarus</i>	ヒゲオオコノハズク	
84	Rufescent Screech Owl	<i>Megascops ingens</i>	アンデスオオコノハズク	
85	Colombian Screech Owl	<i>Megascops colombianus</i>	コロンビアオオコノハズク	柴田 (2015) より
86	Cinnamon Screech Owl	<i>Megascops petersoni</i>	ニッケイコノハズク	新称
87	Cloud-forest Screech Owl	<i>Megascops marshalli</i>	アンデスコノハズク	白井 (1992) より
88	Tawny-bellied Screech Owl	<i>Megascops watsonii</i>	チャバラオオコノハズク	
89	Middle American Screech Owl	<i>Megascops guatemalae</i>	キタホソジマオオコノハズク	改称
90	Vermiculated Screech Owl	<i>Megascops vermiculatus</i>	ホソジマオオコノハズク	内田・島崎 (1987) より
91	Roraiman Screech Owl	<i>Megascops roraimae</i>	ロライマオオコノハズク	新称
92	Choco Screech Owl	<i>Megascops centralis</i>	チョコオオコノハズク	新称
93	Napo Screech Owl	<i>Megascops napensis</i>	ナポオオコノハズク	新称
94	Yungas Screech Owl	<i>Megascops hoyi</i>	ユングスオオコノハズク	新称
95	Black-capped Screech Owl	<i>Megascops atricapilla</i>	ズグロオオコノハズク	
96	Long-tufted Screech Owl	<i>Megascops sanctaecatarinae</i>	ミミナガオオコノハズク	柴田 (2015) より
97	Puerto Rican Screech Owl	<i>Megascops nudipes</i>	プエルトリコオオコノハズク	

付表1. つづき.
Appendix 1. Continued.

No.	英名 English name	学名 Scientific name	和名 Japanese name	出典 Source
98	White-throated Screech Owl	<i>Megascops albogularis</i>	ノドジロオオコノハズク	
99	Palau Owl	<i>Pyrroglauis podargina</i>	カキイロコノハズク	
100	Bare-legged Owl	<i>Margarobyas lawrencii</i>	ユビナガフクロウ	
101	Northern White-faced Owl	<i>Ptilopsis leucotis</i>	アフリカオオコノハズク	
102	Southern White-faced Owl	<i>Ptilopsis granti</i>	ミナミアフリカオオコノハズク	柴田 (2015) より
103	Snowy Owl	<i>Bubo scandiacus</i>	シロフクロウ	
104	Great Horned Owl	<i>Bubo virginianus</i>	アメリカワシミズク	
105	Lesser Horned Owl	<i>Bubo magellanicus</i>	マゼランワシミズク	柴田 (2015) より
106	Eurasian Eagle-Owl	<i>Bubo bubo</i>	ワシミズク	
107	Indian Eagle-Owl	<i>Bubo bengalensis</i>	ベンガルワシミズク	新称
108	Pharaoh Eagle-Owl	<i>Bubo ascalaphus</i>	サバクワシミズク	黒田 (1964) より
109	Cape Eagle-Owl	<i>Bubo capensis</i>	イワワシミズク	
110	Spotted Eagle-Owl	<i>Bubo africanus</i>	アフリカワシミズク	
111	Greyish Eagle-Owl	<i>Bubo cinerascens</i>	ハイイロワシミズク	新称
112	Fraser's Eagle-Owl	<i>Bubo poensis</i>	コヨコジマワシミズク	
113	Usambara Eagle-Owl	<i>Bubo vosseleri</i>	ウサンバラワシミズク	荒俣 (1993) を改称
114	Spot-bellied Eagle-Owl	<i>Bubo nipalensis</i>	ネパールワシミズク	
115	Barred Eagle-Owl	<i>Bubo sumatranus</i>	マレーワシミズク	
116	Shelley's Eagle-Owl	<i>Bubo shelleyi</i>	ヨコジマワシミズク	
117	Verreaux's Eagle-Owl	<i>Bubo lacteus</i>	クロワシミズク	
118	Dusky Eagle-Owl	<i>Bubo coromandus</i>	ウスグロワシミズク	
119	Akun Eagle-Owl	<i>Bubo leucostictus</i>	アクンワシミズク	
120	Philippine Eagle-Owl	<i>Bubo philippensis</i>	フィリピンワシミズク	
121	Blakiston's Fish Owl	<i>Bubo blakistoni</i>	シマフクロウ	
122	Brown Fish Owl	<i>Ketupa zeylonensis</i>	ミナシマフクロウ	
123	Tawny Fish Owl	<i>Ketupa flavipes</i>	ウオミズク	
124	Buffy Fish Owl	<i>Ketupa ketupu</i>	マレーウオミズク	
125	Pel's Fishing Owl	<i>Scotopelia peli</i>	ウオクイフクロウ	
126	Rufous Fishing Owl	<i>Scotopelia ussheri</i>	アカウオクイフクロウ	
127	Vermiculated Fishing Owl	<i>Scotopelia bouvieri</i>	タテジマウオクイフクロウ	
128	Spotted Wood Owl	<i>Strix seloputo</i>	マレーモリフクロウ	
129	Mottled Wood Owl	<i>Strix ocellata</i>	インドモリフクロウ	
130	Brown Wood Owl	<i>Strix leptogrammica</i>	オオフクロウ	
131	Tawny Owl	<i>Strix aluco</i>	モリフクロウ	
132	Himalayan Owl	<i>Strix niviculum</i>	ミヤマモリフクロウ	新称
133	Omani Owl	<i>Strix butleri</i>	ウスイロモリフクロウ	
134	Desert Owl	<i>Strix hadorami</i>	サバクフクロウ	新称
135	Spotted Owl	<i>Strix occidentalis</i>	ニシアメリカフクロウ	
136	Barred Owl	<i>Strix varia</i>	アメリカフクロウ	
137	Cinereous Owl	<i>Strix sartorii</i>	メキシコフクロウ	新称
138	Fulvous Owl	<i>Strix fulvescens</i>	チュウベイフクロウ	新称
139	Rusty-barred Owl	<i>Strix hylophila</i>	ブラジルモリフクロウ	
140	Chaco Owl	<i>Strix chacoensis</i>	チャコモリフクロウ	新称
141	Rufous-legged Owl	<i>Strix rufipes</i>	アカアシモリフクロウ	
142	Ural Owl	<i>Strix uralensis</i>	フクロウ	
143	Pere David's Owl	<i>Strix davidi</i>	シセンフクロウ	
144	Great Grey Owl	<i>Strix nebulosa</i>	カラフトフクロウ	
145	African Wood Owl	<i>Strix woodfordii</i>	アフリカヒナフクロウ	
146	Mottled Owl	<i>Strix virgata</i>	ナンベイヒナフクロウ	
147	Rufous-banded Owl	<i>Strix albitarsis</i>	アカオビヒナフクロウ	

付表1. つづき.
Appendix 1. Continued.

No.	英名 English name	学名 Scientific name	和名 Japanese name	出典 Source
148	Black-and-white Owl	<i>Strix nigrolineata</i>	シロクロヒナフクロウ	普及度に基づき、山階 (1986)の別和名併記の 順序を入れ替え
149	Black-banded Owl	<i>Strix huhula</i>	クロオビヒナフクロウ	
150	Maned Owl	<i>Jubula lettii</i>	タテガミズク	
151	Crested Owl	<i>Lophotrix cristata</i>	ミミナガフクロウ (カンムリズク)	
152	Spectacled Owl	<i>Pulsatrix perspicillata</i>	メガネフクロウ	新称
153	Tawny-browed Owl	<i>Pulsatrix koenigswaldiana</i>	キマユメガネフクロウ	
154	Band-bellied Owl	<i>Pulsatrix melanota</i>	アカオビメガネフクロウ	
155	Northern Hawk-Owl	<i>Surnia ulula</i>	オナガフクロウ	
156	Eurasian Pygmy Owl	<i>Glaucidium passerinum</i>	スズメフクロウ	新称
157	Collared Owlet	<i>Glaucidium brodiei</i>	ヒメフクロウ	
158	Pearl-spotted Owlet	<i>Glaucidium perlatum</i>	アフリカスズメフクロウ	
159	Northern Pygmy Owl	<i>Glaucidium californicum</i>	ロッキースズメフクロウ	
160	Mountain Pygmy Owl	<i>Glaucidium gnoma</i>	メキシコスズメフクロウ	新称 柴田 (2015) より
161	Baja Pygmy Owl	<i>Glaucidium hoskinsii</i>	バハスズメフクロウ	
162	Guatemalan Pygmy Owl	<i>Glaucidium cobanense</i>	グアテマラスズメフクロウ	
163	Costa Rican Pygmy Owl	<i>Glaucidium costaricanum</i>	コスタリカスズメフクロウ	
164	Andean Pygmy Owl	<i>Glaucidium jardinii</i>	アンデススズメフクロウ	新称
165	Cloud-forest Pygmy Owl	<i>Glaucidium nubicola</i>	コロンビアスズメフクロウ	
166	Yungas Pygmy Owl	<i>Glaucidium bolivianum</i>	ユンガススズメフクロウ	
167	Colima Pygmy Owl	<i>Glaucidium palmarum</i>	コリマスズメフクロウ	
168	Tamaulipas Pygmy Owl	<i>Glaucidium sanchezi</i>	タマウリパススズメフクロウ	新称 柴田 (2015) より
169	Pernambuco Pygmy Owl	<i>Glaucidium mooreorum</i>	ペルナンブコスズメフクロウ	
170	Central American Pygmy Owl	<i>Glaucidium griseiceps</i>	チュウベイスズメフクロウ	
171	Subtropical Pygmy Owl	<i>Glaucidium parkeri</i>	アネッタイスズメフクロウ	
172	Amazonian Pygmy Owl	<i>Glaucidium hardyi</i>	アマゾンズズメフクロウ	新称
173	East Brazilian Pygmy Owl	<i>Glaucidium minutissimum</i>	コスズメフクロウ	
174	Ferruginous Pygmy Owl	<i>Glaucidium brasilianum</i>	アカスズメフクロウ	
175	Pacific Pygmy Owl	<i>Glaucidium peruanum</i>	ペルースズメフクロウ	
176	Austral Pygmy Owl	<i>Glaucidium nana</i>	ミナミスズメフクロウ	柴田 (2015) より
177	Cuban Pygmy Owl	<i>Glaucidium siju</i>	キューバスズメフクロウ	
178	Red-chested Owlet	<i>Glaucidium tephronotum</i>	ムネアカスズメフクロウ	
179	Sjöstedt's Barred Owlet	<i>Glaucidium sjostedti</i>	セアカスズメフクロウ	
180	Asian Barred Owlet	<i>Glaucidium cuculoides</i>	オオスズメフクロウ	白井 (1992) より
181	Javan Owlet	<i>Glaucidium castanopterum</i>	ジャワスズメフクロウ	
182	Jungle Owlet	<i>Glaucidium radiatum</i>	モリスズメフクロウ	
183	Chestnut-backed Owlet	<i>Glaucidium castanotum</i>	クリセスズメフクロウ	
184	African Barred Owlet	<i>Glaucidium capense</i>	ヨコジマスズメフクロウ	柴田 (2015) より
185	Albertine Owlet	<i>Glaucidium albertinum</i>	コンゴスズメフクロウ	
186	Long-whiskered Owlet	<i>Xenoglaux loweryi</i>	カオカザリヒメフクロウ	
187	Elf Owl	<i>Micrathene whitneyi</i>	サボテンフクロウ	
188	Little Owl	<i>Athene noctua</i>	コキンメフクロウ	新称
189	Spotted Owlet	<i>Athene brama</i>	インドコキンメフクロウ	
190	Burrowing Owl	<i>Athene cunicularia</i>	アナホリフクロウ	
191	Forest Owlet	<i>Heteroglaux blewitti</i>	モリコキンメフクロウ	
192	Boreal Owl	<i>Aegolius funereus</i>	キンメフクロウ	内田・島崎 (1987) の和 名を併記
193	Northern Saw-whet Owl	<i>Aegolius acadicus</i>	アメリカキンメフクロウ (ヒメキンメフクロウ)	
194	Unspotted Saw-whet Owl	<i>Aegolius ridgwayi</i>	メキシコキンメフクロウ	

付表1. つづき.
Appendix 1. Continued.

No.	英名 English name	学名 Scientific name	和名 Japanese name	出典 Source
195	Buff-fronted Owl	<i>Aegolius harrisii</i>	セグロキンメフクロウ	
196	Rufous Owl	<i>Ninox rufa</i>	アカチャアオバズク	
197	Togian Boobook	<i>Ninox burhani</i>	トギアンアオバズク	新称
198	Powerful Owl	<i>Ninox strenua</i>	オニアオバズク	
199	Barking Owl	<i>Ninox connivens</i>	オーストラリアアオバズク	
200	Sumba Boobook	<i>Ninox rudolfi</i>	スンバアオバズク	柴田 (2015) より
201	Southern Boobook	<i>Ninox boobook</i>	ミナミアオバズク	柴田 (2015) より
202	Morepork	<i>Ninox novaeseelandiae</i>	ニュージーランドアオバズク	
203	Brown Hawk-Owl	<i>Ninox scutulata</i>	フーアアオバズク	新称
204	Northern Boobook	<i>Ninox japonica</i>	アオバズク	
205	Chocolate Boobook	<i>Ninox randi</i>	チョコレートアオバズク	新称
206	Hume's Hawk-Owl	<i>Ninox obscura</i>	ムジアアオバズク	新称
207	Andaman Hawk-Owl	<i>Ninox affinis</i>	アンダマンアオバズク	
208	White-browed Hawk-Owl	<i>Ninox supercilialis</i>	マダガスカルアオバズク	
209	Luzon Hawk-Owl	<i>Ninox philippensis</i>	ルソンアオバズク	改称
210	Mindanao Hawk-Owl	<i>Ninox spilocephala</i>	ミンダナオアオバズク	
211	Mindoro Hawk-Owl	<i>Ninox mindorensis</i>	ミンドロアオバズク	
212	Romblon Hawk-Owl	<i>Ninox spilonotus</i>	ロンブロンアオバズク	改称
213	Cebu Hawk-Owl	<i>Ninox rumseyi</i>	セブアオバズク	新称
214	Camiguin Hawk-Owl	<i>Ninox leventisi</i>	カミギンアオバズク	新称
215	Sulu Hawk-Owl	<i>Ninox reyi</i>	スールーアオバズク	新称
216	Ochre-bellied Boobook	<i>Ninox ochracea</i>	チャバラアオバズク	
217	Cinnabar Boobook	<i>Ninox ios</i>	シュイロアオバズク	新称
218	Hantu Boobook	<i>Ninox squamipila</i>	セラムアオバズク	改称
219	Halmahera Boobook	<i>Ninox hypogramma</i>	ハルマヘラアオバズク	新称
220	Tanimbar Boobook	<i>Ninox forbesi</i>	タニンバルアオバズク	新称
221	Christmas Boobook	<i>Ninox natalis</i>	クリスマスアオバズク	柴田 (2015) より
222	Papuan Boobook	<i>Ninox theomacha</i>	セグロアオバズク	
223	Manus Boobook	<i>Ninox meeki</i>	アドミラルティアオバズク	改称
224	Speckled Boobook	<i>Ninox punctulata</i>	フィリアオバズク	
225	New Ireland Boobook	<i>Ninox variegata</i>	ニューアイルランドアオバズク	
226	New Britain Boobook	<i>Ninox odiosa</i>	ニューブリテンアオバズク	
227	Solomons Boobook	<i>Ninox jacquinoti</i>	ソロモンアオバズク	
228	Little Sumba Hawk-Owl	<i>Ninox sumbaensis</i>	ヒメアオバズク	新称
229	Papuan Hawk-Owl	<i>Uroglaux dimorpha</i>	パプアオナガフクロウ	
230	Laughing Owl	<i>Sceloglaux albifacies</i>	ワライフクロウ	
231	Jamaican Owl	<i>Pseudoscops grammicus</i>	ジャマイカズク	
232	Striped Owl	<i>Pseudoscops clamator</i>	タテジマフクロウ (ウサギフクロウ)	
233	Fearful Owl	<i>Nesasio solomonensis</i>	オニコミミズク	
234	Stygian Owl	<i>Asio stygius</i>	ナンペイトラフズク	
235	Long-eared Owl	<i>Asio otus</i>	トラフズク	
236	Abyssinian Owl	<i>Asio abyssinicus</i>	アビシニアトラフズク	
237	Madagascan Owl	<i>Asio madagascariensis</i>	マダガスカルトラフズク	
238	Short-eared Owl	<i>Asio flammeus</i>	コミミズク	
239	Marsh Owl	<i>Asio capensis</i>	アフリカコミミズク	